

4 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画			
1	学習活動 重点1	小学部	目標	○基本的生活習慣を身に付け、基礎学力の定着を図るとともに、生き生きと活動できる児童を育てる。	
			計画	○個に応じた学習目標を設定し、学習内容を工夫したり、ICT機器を活用したりすることで、活動に意欲的に取り組めるようにする。 ○様々な学習活動や学校行事等を通して児童が主体的に活動する機会を設定し、成就感や自己肯定感を高めることができるようにする。	
		中学部	目標	○基礎学力の向上と学習習慣の定着を図り、自己実現を目指して学習に取り組む意欲と力を育成する。	
			計画	○個に応じた学習目標や学習計画に基づき、学習空白等による学習の遅れを補い、学力の向上を図る。 ○病院と連携して毎日安定して登校できるようにするとともに、学習活動や各種行事へ参加することにより、達成感や自尊感情（自己肯定感、自己有用感等）を高められるようにする。	
		高等部	目標	○生徒自身が自立と社会参加に向けての課題を見付け、個々の実態に応じて、主体的に課題に取り組む能力を育成する。	
			計画	○ 生徒の実態や希望に沿った目標をもつことにより、学力向上や資格取得、技能習得、体力向上等に意欲的に取り組めるようにする。 ○学習活動や各種行事での係活動等を通して、責任感や義務感を養うとともに、主体的に集団活動に参加できるようにする。	
		訪問教育	目標	○保持している感覚機能や身体機能を維持し、周囲の人や物と関わろうとする意欲を育成する。	
			計画	○様々な感覚に働き掛けるために、個に応じた教材・教具（ICT機器等）を効果的に活用する。 ○自身に関わる人に関心をもち、働き掛けを受け止めたりそれに応じたりする経験を積めるように支援する。 ○病院の療法士や外部専門家等と連携し、支援の方法等について情報交換をするなど、教員の専門性の向上を図る。	
		2	学校生活	目標	○児童生徒自身が健康課題や病気について正しく理解し、課題解決に向けて自ら行動したり、積極的に健康の回復を図ったりすることができる。 ○児童生徒の目の健康に関する意識を高め、健康を保持増進するために必要な習慣を身に付けられるようにする。 ○児童生徒が意欲をもって学校生活及び病院生活を送ることができるように、情緒の安定を図る。
				計画	○健康回復に意欲的に取り組めるように学習活動の内容を工夫するとともに、病状の多様化・重度化に対応するため、病状理解や対処法について病院との連携を図る。 ○低視力や眼精疲労等についての知識理解を高め、目に良い健康の習慣が身に付くように、保健指導や学校保健委員会等の保健組織活動を実施する。 ○児童生徒の行動や生活意識及びその背景等について、教職員全員が共通理解を図れるよう、ケース会議や面談を随時開催し、病院と連携して指導に当たる。

3	進路支援・ 教育相談 重点2	目標	<p>○病弱特別支援教育のセンター校としての役割を果たす。</p> <p>○病状・適性等を理解し、児童生徒自身が自立と社会参加を目指して主体的に進路選択できる能力や態度を育成する。</p> <p>○卒業・転学をした児童生徒について、家庭や転出先等と情報を共有し、継続的なフォローアップを行う。</p>
		計画	<p>○学校説明会や教育相談、ホームページ及び市町村の教育センター等の訪問を通して、小学校・中学校・高等学校、関係機関等に、病弱教育についての理解啓発を図る。</p> <p>○卒業生の様子を知ることや就業体験等を通して、卒業後の生活をイメージできるように、個に応じた進路計画を行う。</p> <p>○児童生徒の卒業・転学後3年間のフォローアップ計画を立て、定期的に、あるいは必要に応じて電話連絡及び訪問による状況確認を行う。</p>
4	特別活動	目標	<p>○学校行事や児童生徒会活動等を通して、個性の伸長や社会性の涵養を図る。</p> <p>○異年齢交流の機会を通して、人との関わりを喜び、自ら人と関わろうとする態度を養う。</p>
		計画	<p>○病院と連携しながら児童生徒会活動及び委員会活動の時間を進めるとともに、規範意識や社会性を育てるために「さわやか運動」やボランティア活動等の自主的な活動への参加を促す。</p> <p>○レクリエーション大会等の異年齢による集団活動の機会を多く設定し、主体的に児童生徒同士が関わられるように指導に当たる。</p>
5	その他 (専門性の向上)	目標	<p>○ICT機器を活用した授業実践を行う。</p> <p>○「児童生徒の自立と社会参加に向けた支援の在り方～主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり～」を研究主題として、各学部における共同研究を推進する。</p>
		計画	<p>○ICT機器を授業に積極的に活用した授業研究やICT活用に関する研修会を行う。</p> <p>○令和4・5年度の2年間の研究期間とし、年度ごとに研究の成果をまとめ、校内で共有する。</p>